



●**曲がり屋**
岩手県などに多く存在した曲がり屋。寒さが厳しい地域の民家形式だが、茨城県の一部にも見られた。市内にあった最後の茅葺屋根曲がり屋を、平成11年に移転復元した。



●**菅谷まつり**
8月15日(木)

本祭は夕刻から。祭りの華・「練り込み」は、山車を拝殿正面に引き込むもので、山車を操る技術の見どころ。山車がそろうと大かがり火が焚かれ、神刀による「火切り」などの神事が執り行われる。写真は勇士な太鼓はやしと華麗な山車。

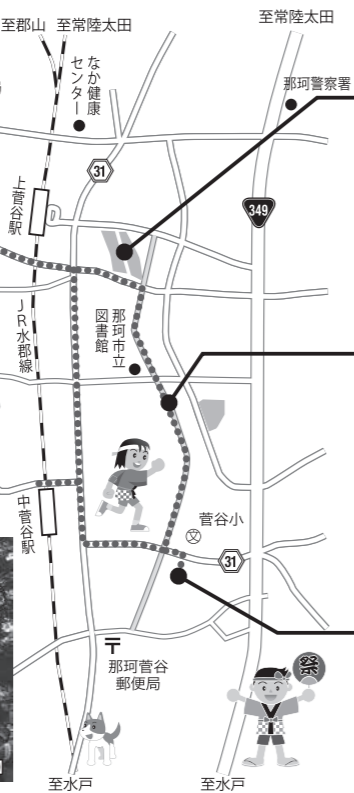


● **散策コース** ●

鹿島神社は中菅谷駅の南東に社殿を構える。祭神は葦原中国平定(あしらのなかつくにへいてい)や相模の元祖として名高い武甕槌大神(タケミカヅチノオオカミ)で、鹿島神宮から分神靈を授かった。木々がうっそうと茂る境内には、金刀比羅神社、熊野神社、稲荷神社、弁天社などもあり、神徳は多い。「菅谷まつり(大助祭)」では鳥居をくぐりぬけた9台の山車が拝殿前に並ぶので、その雄姿を思い浮かべてみよう。

次は両宮水系遊歩道を通して宮の池を目指す。遊歩道は川をイ

●お問い合わせ／那珂市産業経済部商工観光課 ☎029(298)1111(代)



●**宮の池**
鹿島神社はかつて宮の池のほとりにあった。源頼義が前九年の役で勝利したお礼に社を菅(ちがや)を覆い、それが「菅谷」の地名になったと言ひ伝えられている。



●**両宮水系遊歩道**
宮の池南側から那珂菅谷郵便局近くまで続く約1.6kmの遊歩道。菅谷小学校以南は少し狭くなるが、ベンチが点在するなどよく整備されており、散策には最適なコース。



●**鹿島神社**
本殿・拝殿は鹿島神宮に習い、北側を向いている。社宝の一つで、中祭などで人目に触れる御神刀は長さ134cm、最大幅5.5cm、最大厚1.5cm、重量4.7kgの荘重なもの。

メージしており、ベンチや手すりがあるなど、人に優しい構造となっている。「両宮」の名は、かつて宮の池にあった鹿島神社と八幡神社(徳川光圀公の命により1696年に廃社)を意味している。

宮の池は2つの池が並ぶ桜の名所で夏は蓮で覆われる。隣接する公園には遊具があり、休日には和やかに遊ぶ親子連れの姿も見られる。そこから市役所方面に歩いて行くと、一の関ため池が見えてくる。冬には白鳥も飛来する池で、隣接する公園には珍しい「曲がり屋」が保存されている。江戸末期に市内戸崎地区にあった住居を移築したもので、住居と馬小屋、物置が一体となった独自の建築物だ。敷地内にはポストがあり、郵便物には「曲がり屋記念消印」が押印される。

●企画・制作／読売茨城広告社 ☎029(244)5555

Vol.88

駅からのふるさと紀行 JR水郡線

なか すが や
中菅谷駅
しも すが や かみ すが や
下菅谷 上菅谷

●次回は8月25日 ※イラストはイメージです。
「新守谷駅」を掲載予定です。



●**なかひまわりフェスティバル**
8月24日(土) 那珂総合公園ほか
那珂総合公園に隣接する約4haの畑には、毎年、約25万本のひまわりが咲く。8月24日には「なかひまわりフェスティバル」が開催される。



いぎいき茨城ゆめ国体2019
を応援しております。

働く人と、世界を走る。

ISUZU

茨城いすゞ自動車株式会社

本社／〒310-0063 水戸市五軒町1-2-5 ☎029-225-1215(代)
https://www.ibaraki-isuzu.co.jp

広告



●ホーム入口となるスロープは上菅谷駅側にある。



ひまわり大使
ナカマロちゃん



●1面1線・単式ホームの無人駅だが、●雨よけがあるベンチ。簡易電光掲示板があり、運行状況等がわかる。

駅の近くに菅谷まつりの鹿島神社3年に1度、山車で街がにぎわう
JR水郡線中菅谷駅は昭和10年に設置された。6年後には営業を停止したが、13年後の29年に再開された。隣接する上菅谷駅と下菅谷駅は明治30年の水郡線(当時は太田鉄道)開業と同時に設置されている。両駅とは約1キロメートルしか離れていないが、那珂市菅谷地区の住宅街の中心に位置し、地域住民にとって重要な駅として利用されている。「菅谷まつり(大助祭)」で知られる鹿島神社の最寄り駅。鹿島神社は平安時代初期の創建で、かつては上菅谷駅近くに鎮座した。現在地に社を構えたのは安政4年(1857年)。徳川斉昭公により遷座が許された。毎年8月15日には「大助祭」を開催しており、3年に1度の中祭では、たくさんさんの提灯に彩られた山車が地域を巡行する。今年の中祭の年。祭りを前に、地域は熱気に包まれている。

●